

生活に与える影響

外環については、整備しない場合、高架構造で整備した場合、3JC T+5ICを地下構造で整備した場合、3JCT+0ICを地下構造で整備した場合などいくつかのケースが想定されます。

ここでは、生活への影響がどの程度のものかを考えるため、想定される複数のケースのうち高架構造で整備した場合、地下構造で整備した場合について、影響の程度が分かるよう資料を情報提供いたします。

地域分断

ジャンクション、インターチェンジ部での地域分断の可能性

地域の分断など、地域コミュニティへの影響が生じるおそれがあると考えています。

高速道路と接続するジャンクション、一般道路と接続するインターチェンジは地上に設置するため、ジャンクションやインターチェンジ部分は地上から開削して工事することになります。

<世田谷通りインターチェンジ>

(地下構造の場合)



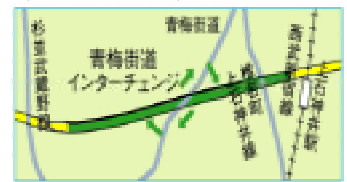
<国道20号インターチェンジ・東八道路インターチェンジ>

(地下構造の場合)



<青梅街道インターチェンジ>

(地下構造の場合)



(高架構造の場合)



(高架構造の場合)



(高架構造の場合)



<目白通りインターチェンジ>

(地下構造の場合)



(高架構造の場合)



凡例

- 開削区間
- インターチェンジ設置による追加開削区間
- 非開削区間(シールド区間)
- 高架区間

この図は、影響を少なくするように構造を想定した場合の概略のものです。